

令和5年2月15日



報道発表資料

大阪税関
Osaka Customs

大阪税関
Osaka Customs

大阪税関
Osaka Customs

令和4年の

大阪税関における関税法違反事件

の取締り状況

大阪税関
Osaka Customs

大阪税関
Osaka Customs

大阪税関
Osaka Customs

大阪税関
Osaka Customs

大阪税関
Osaka Customs

大阪税関
Osaka Customs

大阪税関
Osaka Customs

大阪税関
Osaka Customs

大阪税関
Osaka Customs

<お問い合わせ先>

大阪税関調査部 特別審理官（第1担当）

☎ 06-6576-3124・3138

令和4年1月から令和4年12月までの大阪税関管内における不正薬物※1の密輸入事件取締状況

[不正薬物事犯全体]

摘発件数 **118件** (前年比**30%増**↗) 押収量 **約139kg** (前年比**5%増**↗)
摘発件数は3年ぶり100件超え、押収量は2年連続130kg超え

[覚醒剤事犯]

摘発件数 **35件** (前年比**2.5倍**↗)
押収量約 **55kg** (前年比**33%減**↘)

[大麻事犯]

摘発件数 **35件** (前年比**1.9倍**↗)
押収量約 **43kg** (前年比**6%減**↘)

[麻薬事犯]

摘発件数 **32件** (前年比**19%増**↗)
押収量約 **34kg** (前年比**13.3倍**↗)

[指定薬物事犯]

摘発件数 **16件** (前年比**48%減**↘)
押収量約 **7kg** (前年比**3.3倍**↗)

※1.不正薬物とは、覚醒剤、大麻、あへん、麻薬(ヘロイン、コカイン、MDMA等)、向精神薬及び指定薬物をいう

※2.押収重量は錠剤型薬物を除いたもの

大阪税関における不正薬物等の摘発実績

大阪税関における不正薬物等の摘発実績

種類	年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	前年比
覚醒剤	件	15	52	16	14	35	250%
	kg	113	127	34	83	55	67%
大麻	件	25	32	32	18	35	194%
	kg	12	5	40	46	43	94%
大麻草	件	17	14	27	7	10	143%
	kg	9	2	38	3	5	156%
大麻樹脂	件	8	18	5	11	25	227%
	kg	2	3	2	42	38	89%
麻薬	件	12	17	21	27	32	119%
	kg	3	9	20	3	34	13.3倍
	千錠	1	10	19	28	25	89%
コカイン	件	5	8	4	2	6	300%
	kg	3	9	18	0	26	192.1倍
MDMA等	件	2	3	9	13	13	100%
	kg	0	0	1	2	5	241%
	千錠	1	10	19	28	25	90%
	件	-	-	-	-	-	-
ヘロイン	kg	-	-	-	-	-	-
	件	5	6	8	12	13	108%
その他麻薬	kg	0	0	1	0	4	954%
	千錠	-	0	-	0	-	全減
	件	-	-	-	1	-	全減
向精神薬	kg	-	-	-	0	-	全減
	千錠	-	-	-	1	-	全減
	件	-	-	-	-	-	-
あへん	kg	-	-	-	-	-	-
	件	-	-	-	-	-	-
指定薬物	件	27	29	28	31	16	52%
	kg	2	0	3	2	7	331%
合計	件	79	130	97	91	118	130%
	kg	130	142	96	133	139	105%
	千錠	1	10	19	29	25	86%
(参考) 使用回数	万回	392	457	186	322	312	97%
銃砲	件	3	-	-	-	-	-
	丁	3	-	-	-	-	-
うち拳銃	件	3	-	-	-	-	-
	丁	3	-	-	-	-	-
拳銃部品	件	1	-	-	-	1	全増
	点	1	-	-	-	2	全増

(注) 1.令和元年は、平成31年1月から令和元年12月を示す。以下同じ。
 2.税関が摘発した密輸事件のほか、警察等他機関が摘発した事件で、税関が当該事件に関与したものを含む。
 3.覚醒剤は、覚醒剤及び覚醒剤原料の合計を示す。
 4.大麻樹脂等は、大麻樹脂のほか、大麻リキッド・大麻菓子等の大麻製品の合計を示す。
 5.MDMA等は、MDMA、MDA及びMDEの合計を示す。
 6.その他麻薬には、ケタミン・LSD等が含まれる。

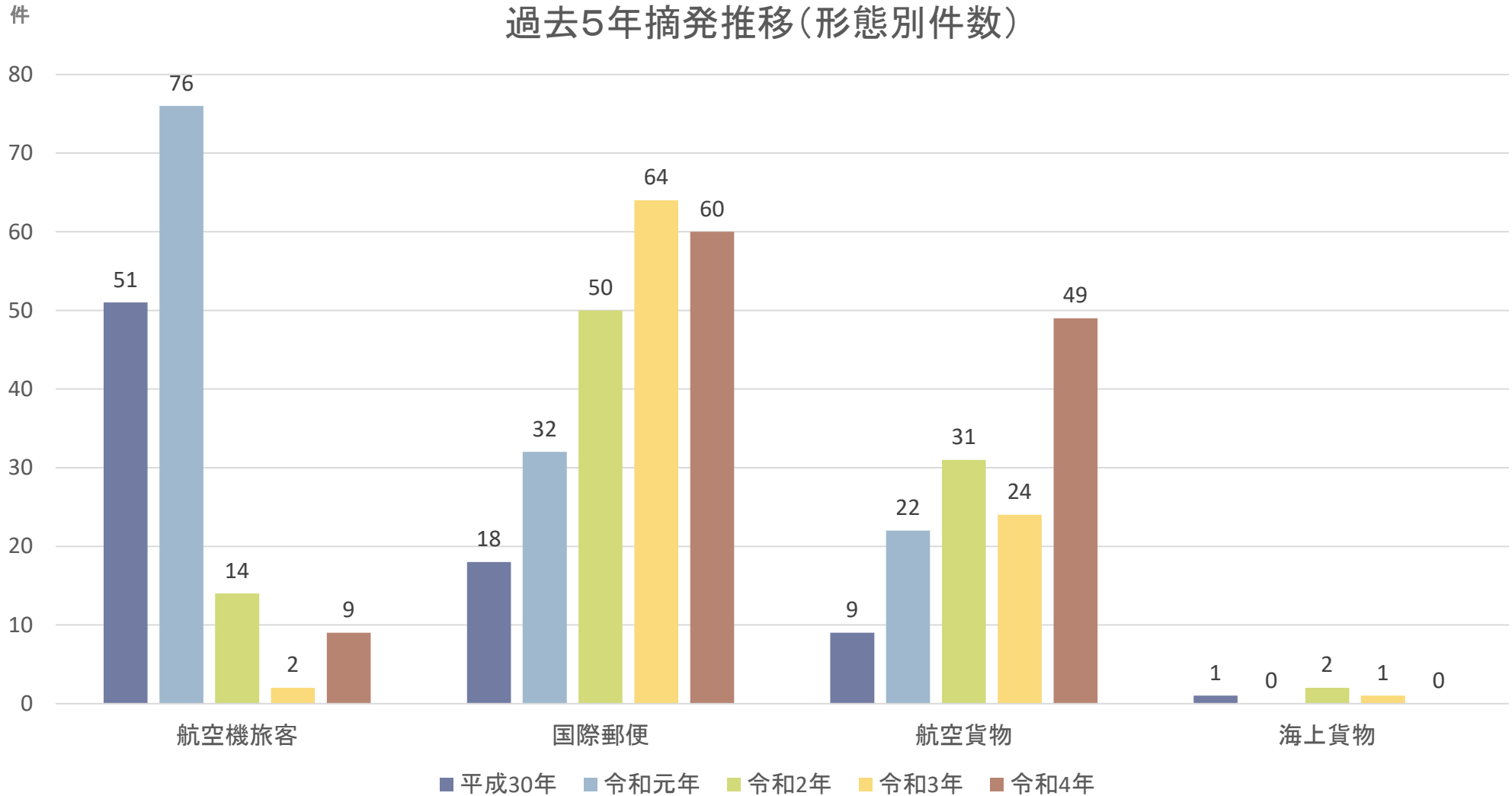
全国税関における不正薬物等の摘発実績

種類	年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	前年比
覚醒剤	件	169	425	72	95	300	316%
	kg	1,159	2,587	811	1,014	567	56%
大麻	件	218	242	204	199	148	74%
	kg	156	82	126	153	431	282%
大麻草	件	128	110	86	94	55	59%
	kg	143	61	49	22	315	14.5倍
大麻樹脂等	件	90	132	118	105	93	89%
	kg	13	21	76	132	117	89%
麻薬	件	225	209	167	233	232	100%
	kg	161	656	822	61	131	216%
	千錠	32	61	90	133	78	59%
コカイン	件	58	52	27	34	28	82%
	kg	153	638	820	14	48	331%
MDMA等	件	59	67	74	81	96	119%
	kg	5	0	2	30	46	152%
	千錠	32	61	90	130	78	60%
	件	8	5	2	-	-	-
ヘロイン	kg	1	17	0	-	-	-
	件	100	85	64	118	108	92%
その他麻薬	kg	2	0	1	16	37	233%
	千錠	1	0	0	3	0	4%
	件	38	6	2	6	16	267%
向精神薬	kg	0	-	-	0	0	403%
	千錠	26	0	1	1	2	119%
あへん	件	-	-	-	1	-	全減
	kg	-	-	-	4	-	全減
指定薬物	件	221	165	300	302	348	115%
	kg	17	14	169	19	17	87%
合計	件	871	1,047	745	836	1,044	125%
	kg	1,493	3,339	1,928	1,251	1,147	92%
	千錠	58	61	91	134	80	59%
(参考) 使用回数	万回	4,427	10,957	5,530	3,577	2,239	63%
銃砲	件	8	-	3	1	5	500%
	丁	10	-	3	1	6	600%
うち拳銃	件	7	-	3	1	5	500%
	丁	9	-	3	1	6	600%
拳銃部品	件	1	-	-	1	3	300%
	点	1	-	-	1	5	500%

7.(参考)使用回数は、以下の不正薬物について、乱用者の通常の一回来用量をもとに換算し、合計したものである。
 (覚醒剤:0.03g、大麻草:0.5g、大麻樹脂:0.1g、あへん:0.3g、ヘロイン:0.01g、コカイン:0.03g、MDMA等及び向精神薬:1錠)
 8.端数処理のため数値が合わないことがある。
 9.数量の表記について、「0」とは500gまたは500錠未満の場合を示し、「-」とは全く無い場合を示す。
 10.令和4年の数値は速報値である。

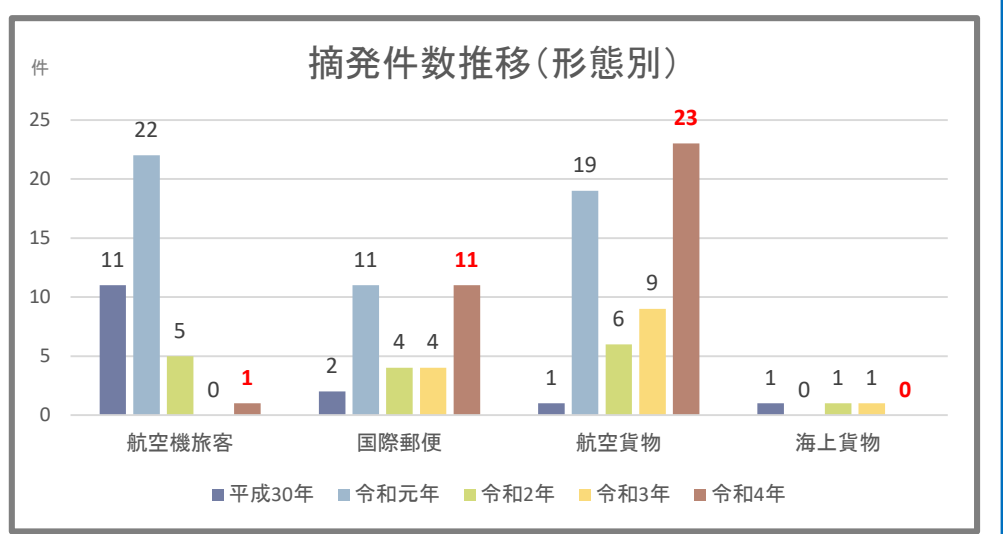
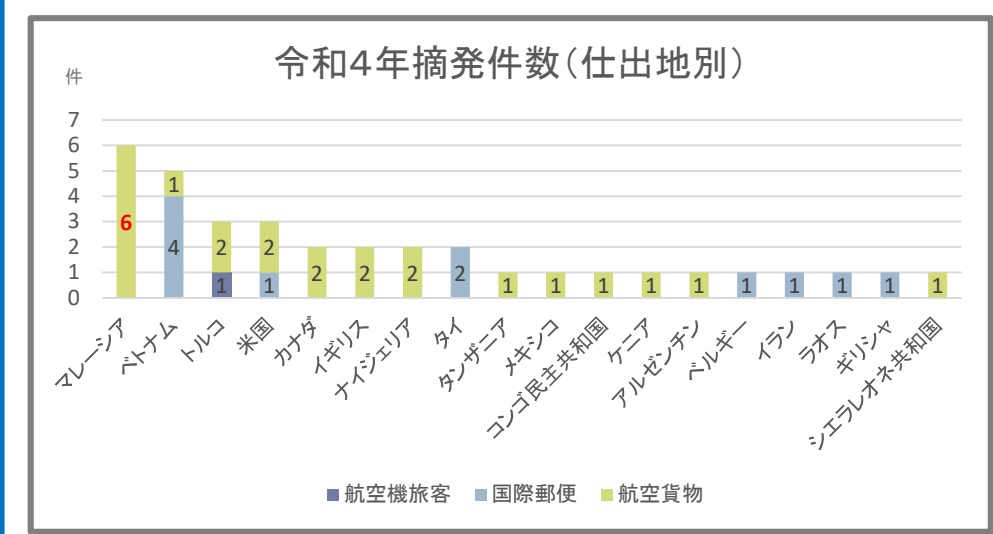
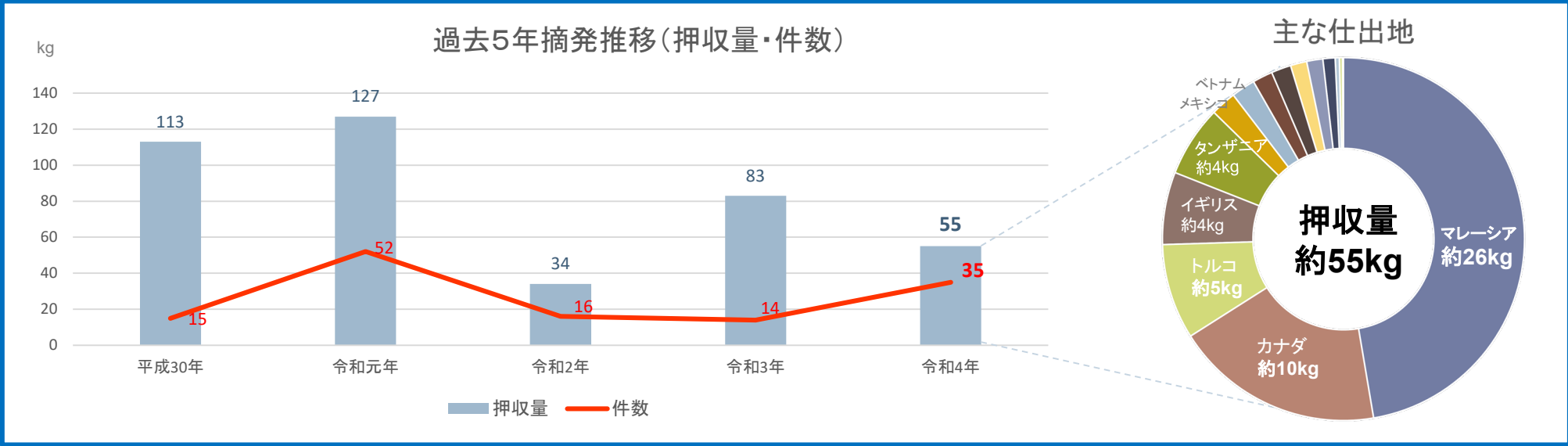
大阪税関における密輸入の形態別

- ・密輸入の形態別では、国際郵便物及び航空貨物の摘発件数が増加傾向にある。
- ・航空機旅客による密輸入は、令和2年・3年と激減したが、令和4年は再発(前年比**4.5倍**、2件⇒9件)の兆しがみられる。



覚醒剤事犯

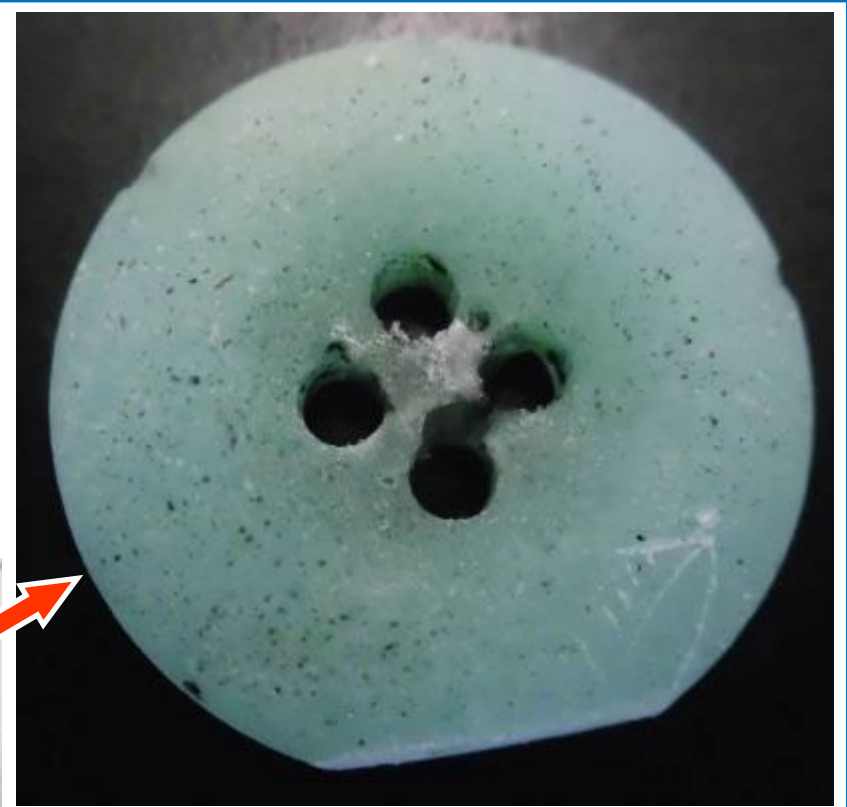
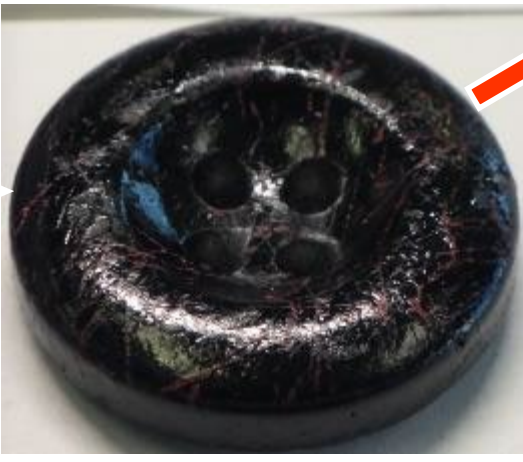
- ・摘発件数は大幅に増加(2.5倍、14件⇒35件)、押収量は減少(33%減、約83kg⇒約55kg)した(※うち6件鑑定未了)。
- ・仕出地別では、摘発件数・押収量ともにマレーシア来が最多の6件・約26kgであった。
- ・形態別では、国際郵便と航空貨物の摘発件数がコロナ前の水準へ回復傾向にある。



覚醒剤事犯（事例紹介①）

【令和4年2月・大阪外郵出張所】

イラン・イスラム共和国来の国際郵便物から、ボタンに分散隠匿された
覚醒剤 約160グラム を発見、摘発



ボタン48個に
分散隠匿

覚醒剤事犯（事例紹介②）

【令和4年6月・関西空港税関支署】

マレーシア来の航空貨物から、ロール状紙片に染み込ませて隠匿された

覚醒剤 約8.8キログラム を発見、摘発（※結晶状にした後の重量）



覚醒剤事犯（事例紹介③）

【令和4年7月・堺税関支署】

メキシコ合衆国来の航空貨物から、飲料缶内に隠匿された

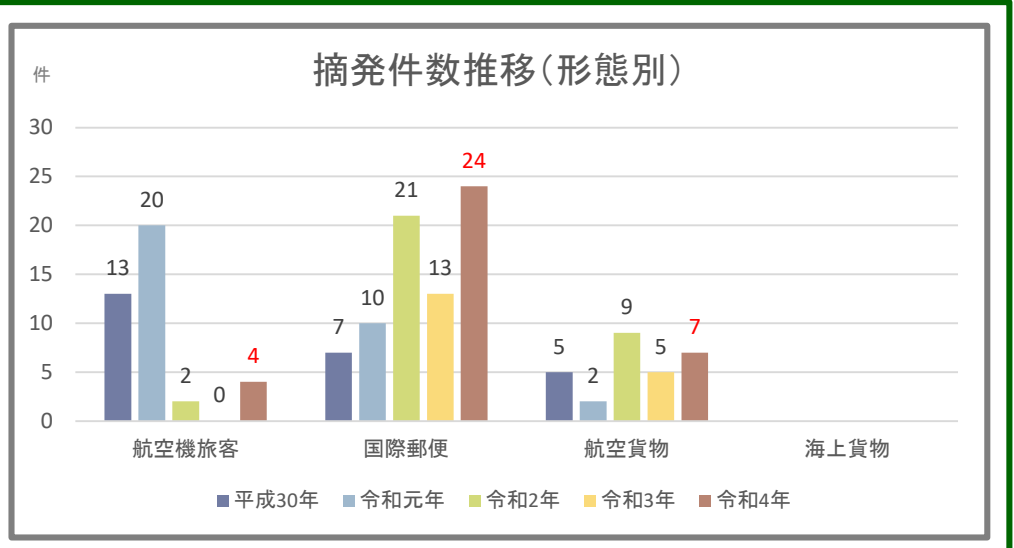
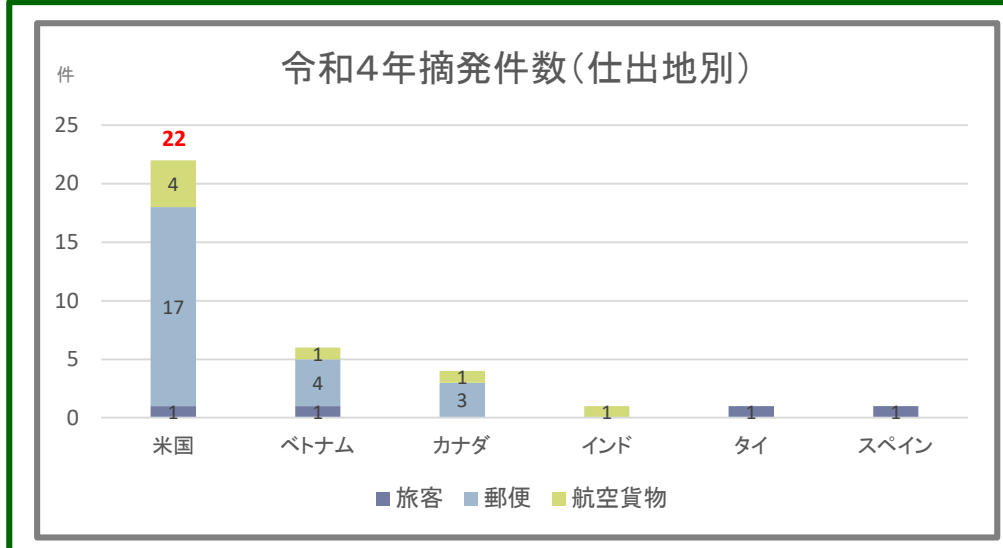
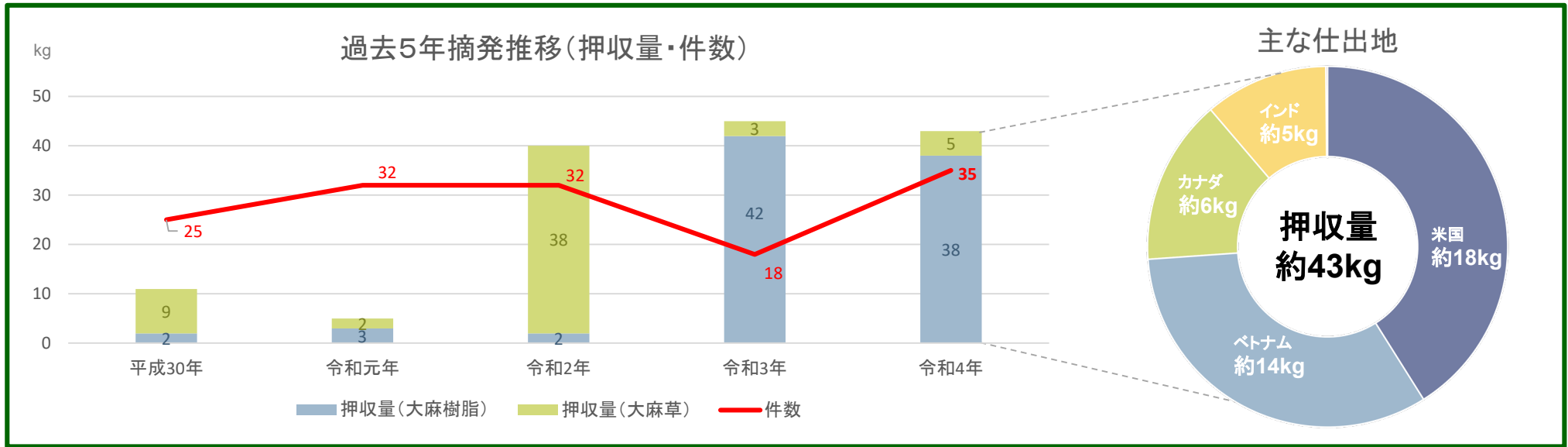
覚醒剤 約1.3キログラム

を発見、摘発（※結晶状にした後の重量）



大麻事犯

- ・摘発件数は大幅に増加(約2倍、18件⇒35件)、押収量は微減(6%減、約46kg⇒約43kg)した。(※うち9件鑑定未了)
- ・仕出地別では、摘発件数・押収量ともに**米国**が最多の**22件・約18kg**であった。
- ・**大麻リキッド**(大麻樹脂)の摘発件数が大幅に増加(約2倍、11件⇒23件)した。



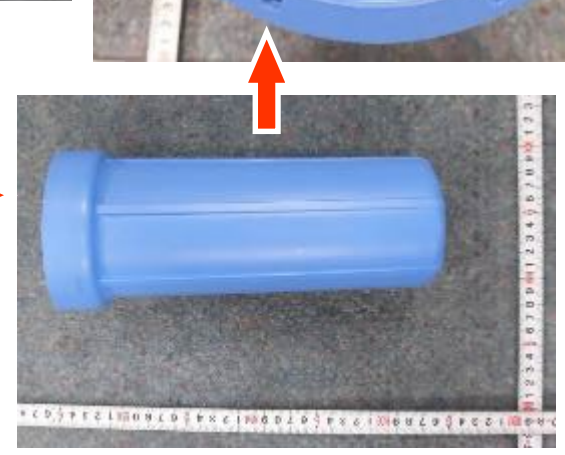
大麻事犯（事例紹介①）



【令和4年6月・関西空港税関支署】

米国来の航空貨物から、浄水器内に隠匿された

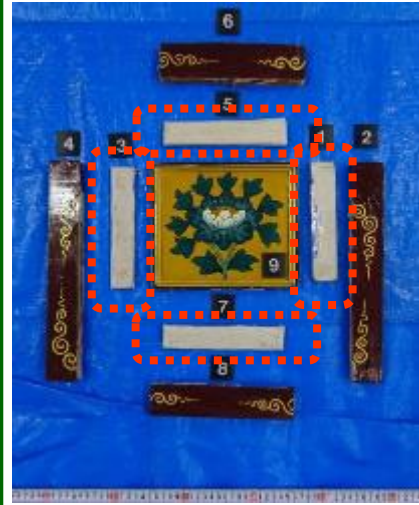
大麻リキッド 約1.7キログラム を発見、摘発



大麻事犯（事例紹介②）

【令和4年6月・関西空港税関支署】

インド来の航空貨物から、折り畳み式木製家具内に隠匿された
大麻樹脂 約4.8キログラム を発見、摘発

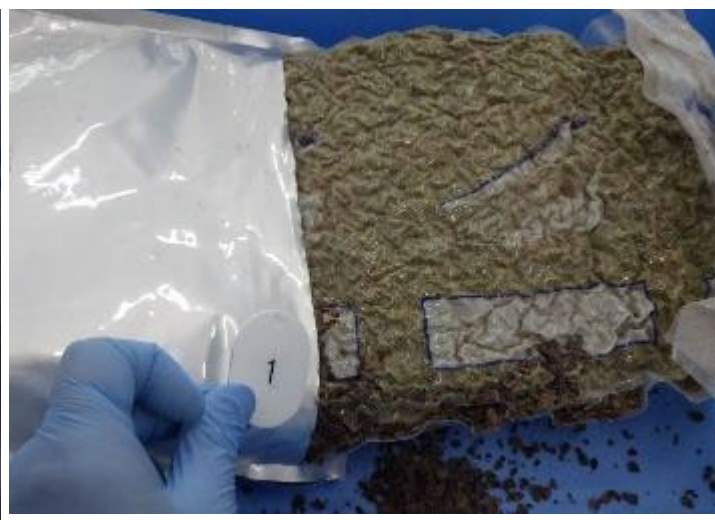


大麻事犯（事例紹介③）

【令和4年8月・大阪外郵出張所】

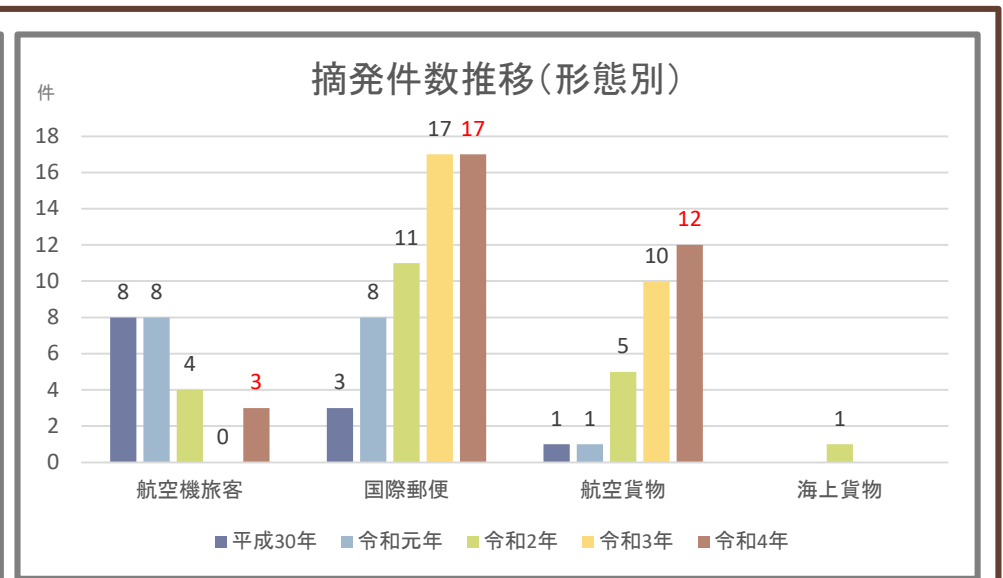
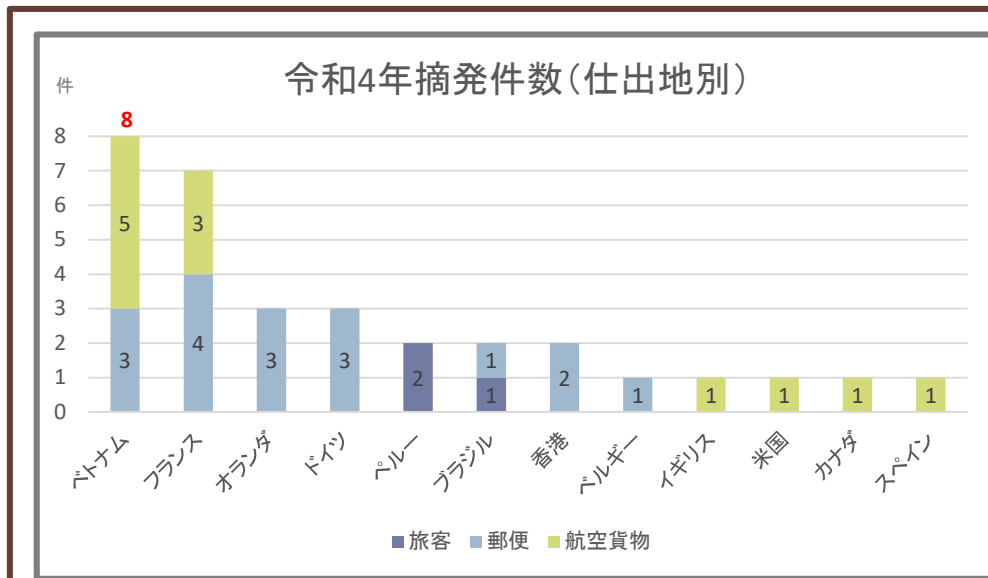
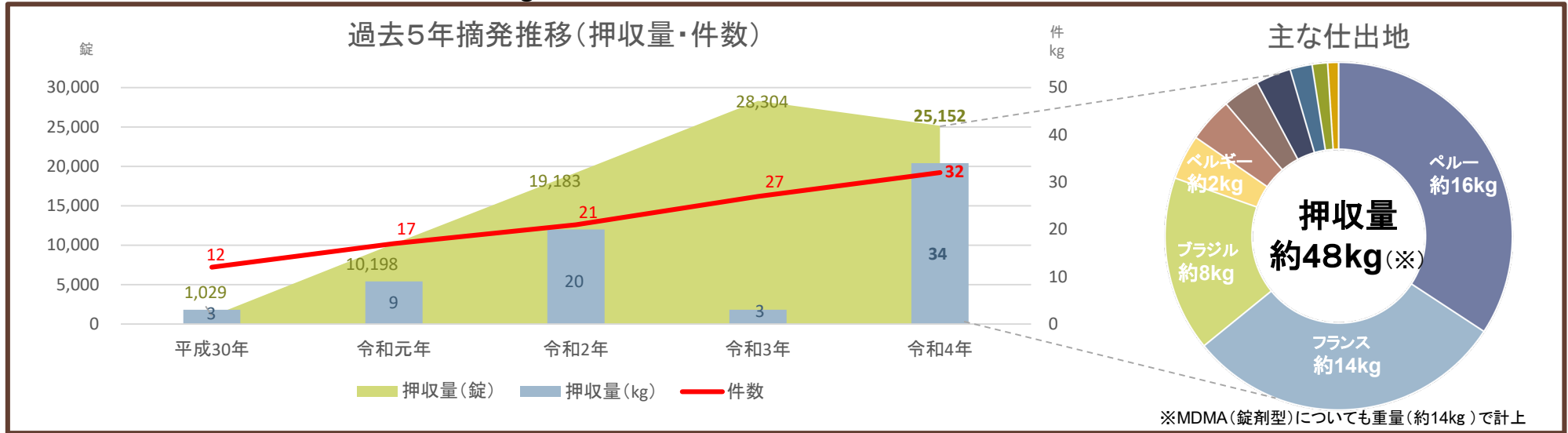
米国来の国際郵便物から、食品袋内に隠匿された

大麻草 約1.3キログラム を発見、摘発



麻薬事犯

- ・摘発件数は5年連続増加(19%増、27件⇒32件)、押収量は激増(約13倍、約2.5kg⇒約34kg)した。
- ・仕出地別では、摘発件数はベトナム来が最多の8件、押収量はペルー来が最多の約16kg(コカイン)であった。
- ・MDMA(錠剤型)は約2万5千錠(約14kg)の摘発があった。



麻薬事犯（事例紹介①）～ ケタミン ～

【令和4年7月・大阪外郵出張所】

ベトナム社会主義共和国来の国際郵便物から、歯磨き粉チューブ内に隠匿された

ケタミン 約120グラム を発見、摘発



麻薬事犯（事例紹介②）～ MDMA ～

【令和4年10月・大阪外郵出張所】

フランス共和国来の国際郵便物から、コーヒー豆袋内に隠匿された
MDMA 約2,000錠 を発見、摘発



麻薬事犯（事例紹介③） ～コカイン～

【令和4年10月・関西空港税関支署】

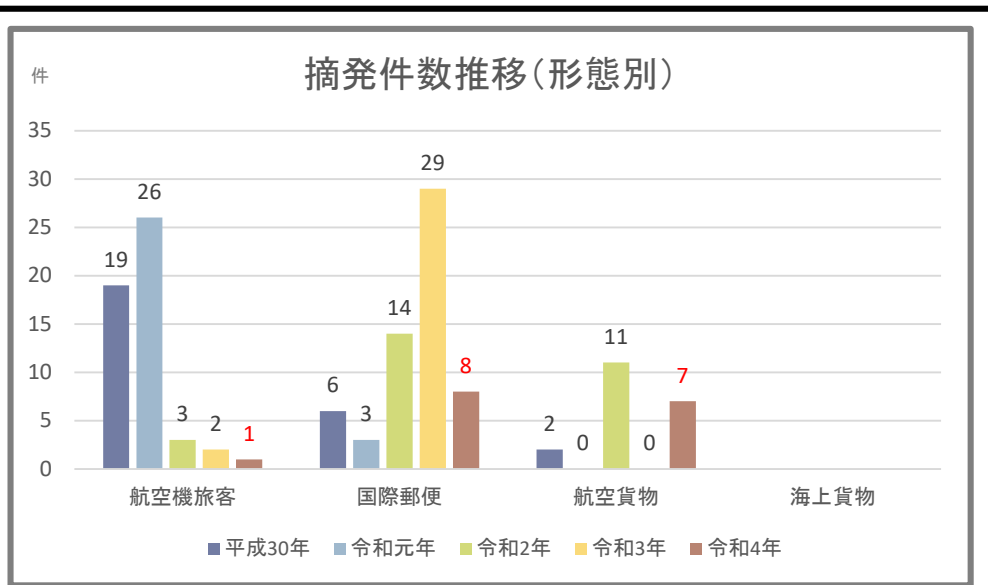
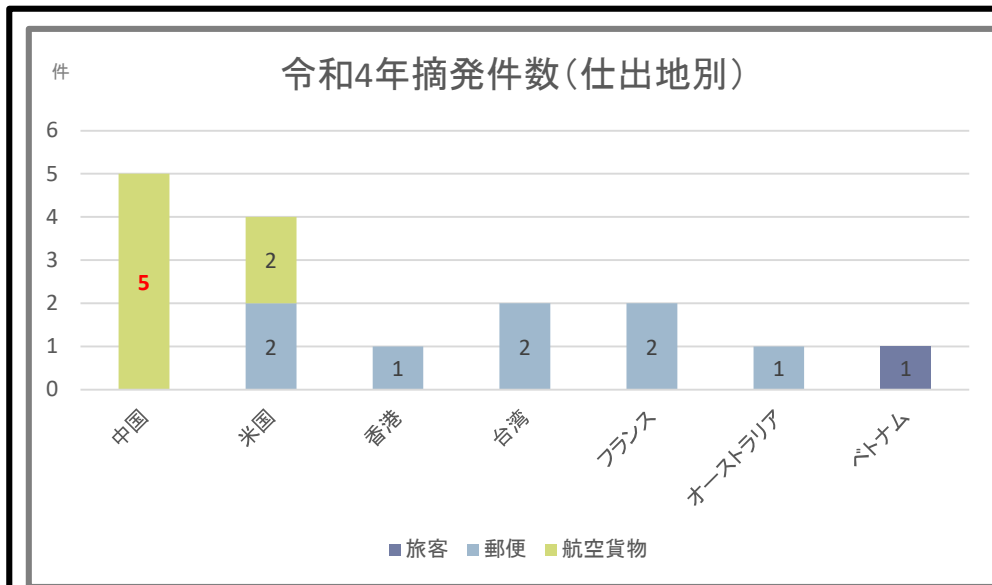
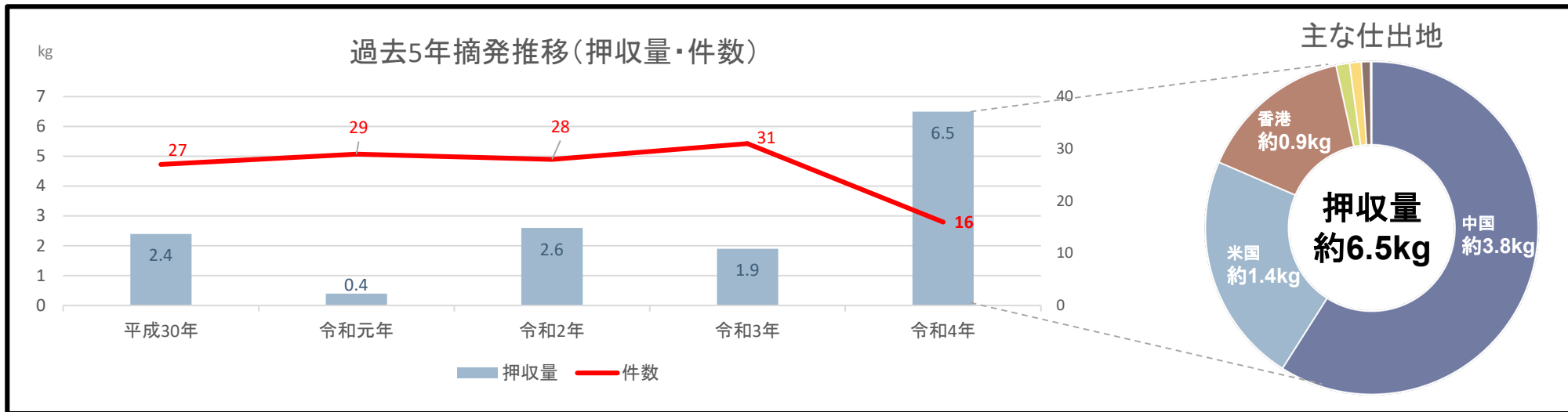
ブラジル連邦共和国から入国した旅客のスーツケースに隠匿された

コカイン 約7.8キログラム を発見、摘発



指定薬物事犯

- ・摘発件数は減少(48%減、31件⇒16件)したが、押収量は大幅に増加(約3倍、約2kg⇒約6.5kg)した。(※うち1件鑑定未了)
- ・仕出地別では、摘発件数・押収量ともに**中国来**が最多の**5件・約4kg**であった。



指定薬物事犯

～摘発物件紹介～

ラッシュ（亜硝酸エステル系）



通称：N,N-ジメチルペンチロン（※1）



（※1）法令名：2-アミノ-1-フェニル-プロパン-1-オン（以下「基本骨格」という。）の二位にジメチルアミノ基が1つ結合し、かつ、三位にエチル基が1つ結合し、かつ、ベンゼン環の三位と四位にメチレンジオキシ基が結合しているものであって基本構造の二位、三位及び当該ベンゼン環にさらに置換基が結合していないもの

通称：HHC（ヘキサヒドロカンナビノール） （令和4年3月以降規制）（※2）



（※2）法令名：6a,7,8,9,10,10a-ヘキサヒドロ-6,6,9-トリメチル-3-ペンチル-6H-ジベンゾ[b,d]ピラン-1-オール

その他事例紹介 ～ 不正輸出事犯 ～

【令和4年3月・南港出張所】

マレーシア向けに不正に輸出しようとした、バーゼル法に該当する貨物である
廃電子基板等（4コンテナ分） を発見、摘発

